

令和5年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市中学校	校長	岡本 真一郎	生徒指導主事	松岡 昭治
取組事例名	『生徒指導規程の発展』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
生徒が生徒会組織や生徒指導規程の改訂に参画していくことを通して、学校の一員としての自覚と責任をもたせ、学校生活を営む上で必要なマナーやルールについての意識を深める。	「学校生活は、自分たちで発展させていく」といった考えをもって学校や地域での活動を行うことができる生徒 「思考力・表現力」「自主性」「自己有用感」



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
①生徒総会に向けて、各クラスで生徒指導規程などについて協議する。	生徒にめあてをもたせるために ○保護者や一部の生徒から、教員に生徒指導規程の改訂について打診があり、その内容を各クラスで議論させた。 ○来年度の生徒指導規程に改訂するための手続きを明記した。
②代議員会を開き、各クラスで話し合ったことをクラス、学年を超えて協議し、改訂案とその理由について整理する。	
③生徒総会にて、各クラスから提案を出してもらい、各クラスの賛成又は、反対の意志を示す。	生徒の意欲を高めるために ○日常生活に関わる生徒指導規程について、生徒総会だけでなく、毎月の代議員会で意見が出せるようにした。
④生徒総会で可決された提案を生徒会執行部で整理し、代議員会で学校長、PTA執行部に提出できる提案にする。	
⑤学校長、PTA執行部で承認された提案を代議員会で確認し、生徒会長より生徒指導規程の改訂について生徒会に説明を行い、施行する。 (⑥毎年、生徒総会で生徒指導規程について協議する。)	生徒の頑張りを認め、価値付けるために ○生徒会長から全体に承認された生徒指導規程について説明をした。 ○承認された生徒指導規程の部分を配付した。
	



3 成果と課題

○生徒の感想には、「自分たちの意見で学校のルールが変わったことから、積極的に意見を出す大切さや自主性を学ぶことができた。」「提案した規程について、たくさんの質問や意見が出たことで理解を深めながら、よりよいものを一緒につくることができた。」「自分たちでこの廿日市中学校を変えることができたという達成感と喜びがありました。」とあり、自分事として取り組めたことや生徒が自分自身の働きかけで学校を変えることができると実感する経験を積むことができた。
●生徒指導規程の改訂を「ゆるくなった」と捉えている生徒、保護者もいる。何のための生徒指導規程改訂なのか一人でも多くの生徒、保護者が理解できるような風土をつくっていく必要がある。